しぼんでいく一方に思えます。

残念

福井直敬氏

大学生たるもの、

てしまっているということです

熊本は3年半前に震災がございました れましたので、災害からの復興が一段落」し、それぞれ改築校舎等の竣工式が行その復旧工事がほとんどの大学で昨年 あけましておめでとうございま

こりこと、 日本人は競争力を失っていると思うのです。 その晩春 ファー

日本に800校くらい大学があ

各大学上位3-

産業革命に

得以下で苦しい人を支援していくもので、

くしてきました。今回の動きは、

【支援対象となる学校種】大学・短期大学・高等専門学校・専門学校

(住民税非課税世帯)

約39万円

約23万円

約17万円

入学金

約25万円

約13万円

約16万円

【支援内容】①授業料等減免制度の創設 ②給付型奨学金の支給の拡充 【支援対象となる学生】住民税非課税世帯 及び <u>それに準ずる世帯</u>の学生

((令和2年度の在学生(既入学者も含む)から対象))

約62万円

約70万円

そこまでは評価できます。

しかし、その条

<u>各大学等が、以下の上限額まで授業料等の減免を実施。</u>減免に

国公立

約17万円

約8万円

学生に関係ない部分で、

外部理事が何人とか、

、大学がその対が、情報公開と

修学支援新制度の概要

要する費用を公費から支出

短期大学

高等専門学校

れど、例えばアメリカでは一てきてやることを考えたのか

ラーシップ」で、

それからファイナンスは

(授業料等減免の上限額(年額)

お願いいたします

ありがとうございます。

は、まだ何も考えられていないのが本当の顧客である、「分厚い中間層」に対して 良いニュースとしては、 今後深まることを切に期 去年は修学支援 主要な

思想自体を変えていかなければなりませ金に合えばいただくというふうに、我々の の間にか政策誘導されている。私学人も反から、4タイプに分けて点数を付け、いつ るからではなく、こういう学生を育てたい 金に合えばいただくというふうに、我々のからこの教育をする、それが結果的に補助 ればなりませんが、お金をもらえ

とんど認定されました。

学省から出ておりました。今後、問題になはこの特例はなくなるという通知も文部科 ることについてご見解をいただければと思 こきました。 今回の動きは、 一定の所へンディキャップを持つ人たちに手厚 今までの日本の修学支援制度は、 申請を出した大学はほ 機関要件」については しかし、次年度に

修学支援新制度ですが、この4月1日から伺えればと思います。まずは、高等教育の 問題点 修学支援新制 度 0



補助金にしても、特色ある教育と言いな政府の方針があるように思います。

4タイプに分けて点数を付け、

いでいこう、学校法人の手足を縛れという

司会

ありがとうございました。

ように捉え、

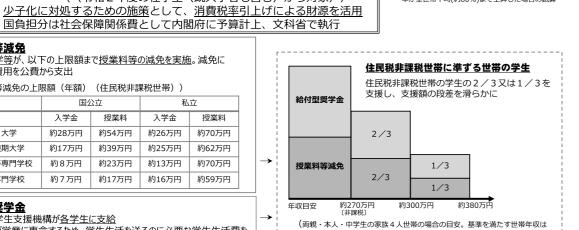
近え、それをもとに設置者の力を削あたかも私立大学全体が悪いかの

私学の独自性が否定されてきているように

一部の私立大学が不祥事を起と

佐藤先生がおっしゃったよう

所要額(試算) 約7,600億円 国:約7,100億円 地方:約500億円



日本学生支援機構が<u>各学生に支給</u> 学生が学業に専念するため、学生生活を送るのに必要な学生生活費を

(給付型奨学金の給付額(年額)(住民税非課税世帯))			主民税非課税世帯))
	国公立	大学・短期大学・専門学校	自宅生 約35万円、自宅外生 約80万円
	国公立	高等専門学校	自宅生 約21万円、自宅外生 約41万円
	私立	大学・短期大学・専門学校	自宅生 約46万円、自宅外生 約91万円
	私立	高等専門学校	自宅生 約32万円、自宅外生 約52万円

学問追究と実践的教育のバランスが取れた大学等 経営に課題のある法人の設置する大学等は対象外

※詳細は、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」参照(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)



で政策を実行するのは、学生いずれにせよ、未確定なも 校でするのですよという話 っています。そうすると、の責任にしてくださいとい いたはずが、今は授業料減い がって、授業料減免の手続な 個人に対する教育の機会 発車が多い

4つの機関

家族構成により異なる)

○ 進学前は成績だけで否定的な判断をせず、レポート等で本人の 学修意欲を確認 大学等への進学後の学修状況に厳しい要件 大学等の要件: 国又は自治体による要件確認を受けた大学等が対象

は、スマホだ、インスタ映えだ、ファッシん。しかし、最近の大学生の一番の関心事か、そういう感覚を持たなければいけませかとしてそのために日本はどうするべきなの も15週必ず授業をしなざいというのも、無ピックや自然災害など様々な要因があって各教育機関がどうあるべきなのか、オリンすから、安全・安心を求めるのであれば、 て制度疲労を起こし、このままだと日本が起こっているというのは、戦後だいぶ経っ だけを追っているようにも見えます。 リカや英国に対して何を言うべきなのか、 審議拒否をして機能していない状況が毎年国会を見れば、法案以外の問題で野党が 理難題です。それを変えることのできなど から借りてきた文化や流行ばかりで、表面 ョンだ、ハロウィンだと、とにかくどこかは、スマホだ、インスタ映えだ、ファッシ に暮らしていくのだというふうに、 ンステムに日本が突入して、閉塞感を感じ 大学教育は原点に戻る時期ではないでし 日本の学生は何ができるのか、アメ、大学生たるもの、香港の若者に対 いけません。そこを私立大学が先 ていくことになると思います。 未来社会は間違いなく若き人たちが創成し がだんだん毀損されていくことを心配 はならないと思います。逆に、私学の良さ くなるとか、どうにかできるということに 教育は事務にあらず、感性なのでありまれに合った個の教育を行ってきたのです。 その本質的な教育の伝統を構築してきまし なってしまっている印象があります 社会に対応できる人材育成を行う予定であ 時代は第4次産業革命といの御代が始まりました。私 ます。そのような意味で制度を変えれば良 するための教育そのものであります。 現場を調査することなく机上論的な政策に けているように感じます。そこには私学の 学省から高等教育に関する諸施策が出され た新情報のリテラシー教育を開始します 変革の時代を迎えることになると思いま ながら私学からの切実な願いが無視され続 てきましたが、それを拝見する限り、 それから、中央教育審議会を始め文部科 教育の本質は、 :代は第4次産業革命といわれるように大/御代が始まりました。 私は、 これからのそして昨年は新天皇が御即位され、 令和 この4月にそのコースを設置します。 まさに令和の御代は新時代の始まりに 同時に全ての学科でAIを中心とし 制度ではなく、人を育成 未来の情報化

った人材育成をやってきたと認識しており その個性を大切にしながら学生それぞ それぞれの学校法人が長い間苦労して 学生は全て異なった個性を持っていま 建学の精神のもとで、そうい 年間をふりかえると、

関しては、それに応じて、これだけの割合例えば、これに該当する所得額の学生に に来年はもっと機関要件が厳しくなるので関要件で何が何パーセント必要とか。さら で奨学金を与えるとか、 していただきたかったのです。 また、科研費の場合には間接経費を上 学生本人に対する支援なのに、 大学側の手間も馬鹿になりませ 機

ですから、その分は大学の手続きなり事務 せしていただけますが、この制度にはな い政策ですが、大学の負担にならないよう新制度自体は、大きな前進で、ありがた 処理の負担になってきます シンプルな設計に

は生かさず殺さず一、国は私たち私学を、らも、実は江戸時代から続いている「民間す。その違いで、欧米の枠組みを持ちなが 私学主導で、私学は確たる地位があり を入れ、国主導といえる。 教育の歴史では、 わが国は国が教育に 欧米は、教育は

ま

のかどうかが分からない。今時躇して手を挙げない。自学部で説明会をするのだけれ

報保護の観点で、家計状況は

という話もあるのです。

の大学政

対象の判定がこの1月からさ ん。 現実的に、 JASSO



福井会長がおっしゃったように、分厚い中私学として不満の声があるのです。先ほど一体どこまでできていたのかというのは、ら、その整合性とか、政策のすり合わせが 度をシンプルにし、大学と双方にメリットか。似た制度は一緒にまとめるなりして制等でも困っておられるのではないでしょう ういう哲学、 間層への支援ということで、この制度はど 奨学金制度、授業料減免制度など、個人支奨学金制度、無利子の奨学金制度、有利子 がある予算の使い方をしていただきたいの 援はさまざまな形で行われていたのですか 日本学生支援機構(JASSO) 設計なのか。 奨学金制度、有利子のこれまでに給付型

ぜこの個人支援の、あるいは家計

|負担の軽

の新制度がスター

トをしたわけですが、

ることを心配しています

司会個人要件と機関要件があって、

いと、海外との競争には勝てない時代にな

ていかなければなりません。今後の修学支

学生間で競争する仕組みをつくらな

差値教育を正していく。そして、各分野で

活躍しようという人材競争をこれから増し

分足りるのです。そうやって富士山型の偏00人ですから、原資が30億円もあれば十

研究所初代所長の喜多村和之先生が常々仰 育制度の中で、私学は特異な位置付けだっ たのです。これは本協会附置私学高等教育 というのはあると思うのです。学校教原 教育行政の枠組みの中での私学の 国は「私学は生かさず

年、4年になる学生は、そのだけれども、それを受けて

祝宴プラン

特別な日のお祝いに。

もっとシンプルにできないのでし制度があまりにも複雑になってい

からない ら、給付型奨学金が将来継ば 何か、これもまだ内容が見る うすると、この制度と修学す 通学と下宿で、それぞれ 給付型奨学金は住民税非罪 2制度を1 つにすると

から、本学のアドミッションそれから、この制度は未確

それで、授業料減免は今まれぞれの学校が実行する授業 の兼ね合いからみると、また割は私学が引き受けているの は感じているのです。 料無償化という話から始ま す。このままだと私学は、 るのではないかと疑いたくな「教育機関」ではなく「学校 つの間にか「修学支援新制度 プルに」とおっしゃいました佐藤 先ほど福井会長が、 て統治してしまいます。 勝手に自分でやれよ」とい からも見直す必要があると しかし、高等教育を受け 従来ある給付型 その

歓びと、笑顔あふれる 和やかなひとときを。



宴会•会議

BANQUET

ACCOMMODATION 宿泊

RESTAURANT レストラン



アルカディア市ケ谷(私学会館)は、一般財団法人私学研修福祉会が運営する福祉厚生施設です。 営業事業のほか、私学教職員資質向上のため、幼稚園から大学までの各種研修事業を実施しています。









算的にいうと、従来の授業料

今ある授業料減免がなる

て私学助成にあたった部分は

料減免制度はなくなる。4

新しい新入生







②ご本人またはご夫妻のご宿泊割引優待 ③10名様以上で六切り写真1カットサービス

季節のパーティープラン 300名規模の大宴会から小規模の宴会まで 多様にお応えいたします。

長寿祝、結婚記念祝、叙勲・褒章受章祝など、

お料理・お飲み物・装花・室料・消費税・サービス料込

①乾杯用スパークリングワインサービス

おひとりさま 11,000円

立食形式/着席形式 6,300円~ お料理・お飲み物・装花・室料・消費税・サービス料込 時間: 2時間30分/会場: 宴会場(個室) 20名様より



日曜・祝日限定宿泊プラン ディナーを楽しみながら充実した休日を。

ホリデーパック

1泊2食付 10,000円~(税・サービス料込)



TEL 03-6685-0540 (会議·宴会予約) TEL 03-6685-0541 (宿泊予約)

JR線・地下鉄 (有楽町線・新宿線・南北線)

市ケ谷駅 徒歩2分

一般財団法人 私学研修福祉会

研修事業部 TEL 03-3222-1006~1008 http://www.skf.or.jp

アルカディア市ヶ谷 私学会館

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

TEL 03-3261-9921(代表) http://www.arcadia-jp.org